

本県農業は、広大な農地や大消費地に近い立地条件といった強みを活かすとともに、多くの意欲的な生産者の努力や創意工夫により多様な農作物がバランス良く生産されるなど、地域を支える重要な産業として発展してきました。

一方、少子高齢化に伴う人口減少をはじめ、経済のグローバル化やデジタル化の進展、感染症の感染拡大など、社会が大きく変化する中で、人々の働き方や価値観が多様化する新たな時代を迎えています。

このような中、農業・農村は、食料の安定供給に加え、県土の保全や景観の形成、安らぎの場の提供など、県民の安全・安心で心豊かな暮らしに大きな役割を果たしています。

県では、農業の成長産業としての持続的な発展を目標とした農業振興計画『とちぎ農業未来創生プラン』をスタートさせたところであり、「就農環境日本一」をスローガンに、多くの若者が本県で就農し、稼げる農業が展開され、農村への新たな人の流れが創出される好循環を生み出す、全国に誇れる就農環境の構築に取り組んでいるところです。

本書では、上記プランの実現を目指し、「新規就農者確保・育成」や「新たな施設園芸の展開」、「稼げる水田農業の実現」などに取り組んでいる普及指導活動の代表事例を紹介しています。こうした活動事例をよく御覧いただき、栃木県の農業を支える普及指導員の活動の一端を御理解いただければ幸いです。

結びに、本県普及事業の推進に御協力いただいた関係者並びに関係機関・団体の皆様に心から感謝申し上げます。

令和4(2022)年3月

栃木県農政部経営技術課長 柴田 和幸